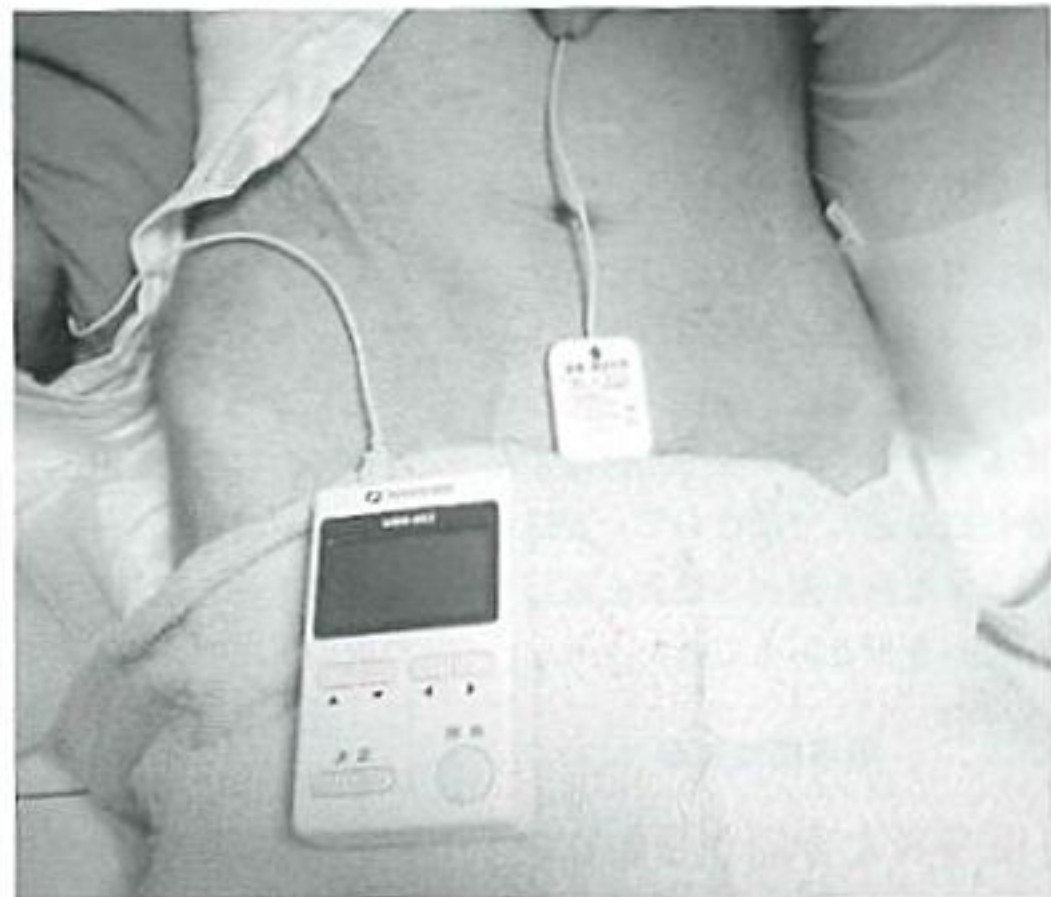
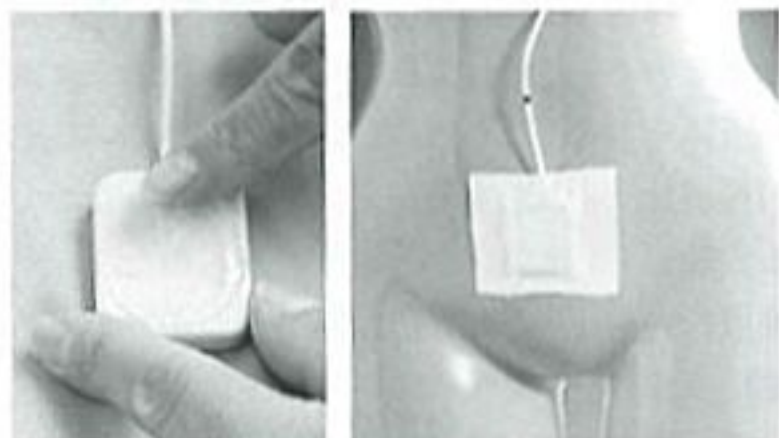


① 長時間尿動態データレコーダ **ゆりりん** USH-052

●メーカー名 / (株) タケシバ電機 ●価格 / 240,000円 (税別)



プローブにジェルを塗って、下腹部に貼り付けます。ゆりりんを用いて尿量を計測しているところ。その時点での尿量を計測できるだけでなく、継続的な尿量の変化を確認できる点が本機の特徴です。

寝たきりだから認知症だからと、安易にオムツやカテーテルを選択していませんか？ オムツや留置カテーテルに依存する前に排尿状態をきちんとアセスメントすることが大切です。正しいアセスメントなしにはよいケアは成り立ちません。排尿アセスメントで非常に重要なのが「残尿測定」です。残尿測定には導尿と超音波測定器を用いる方法がありますが、従来は導尿によるものが多く、患者さんに心と体の両面で負担をかけていました。そこで、今回残尿測定を、簡便に非侵襲的にできるものとして「ゆりりん」を紹介します。

「ゆりりん」は超音波で膀胱内の尿量を測定し数値で表示する医療用機器です。活用法として①ベッドサイドで排尿・排尿時期の確認が簡単

に迅速に実施できる。②尿意のない患者さんが間欠導尿をしている場合に患者さんの尿意の代わりに使用できる。③術後の排尿管理と留置カテーテル抜去後の早期社会復帰や不必要なカテーテルおよびオムツの削減を図る、といったことが挙げられます。

排尿障害に対してナースは、常に「なぜ?」「どうして?」「どうしたら?」と問いかける姿勢が必要です。そこから、自立した排尿支援の道が見えてきます。患者さんが「心地よい排尿」を獲得するために、排尿状態を知る手がかりとして「ゆりりん」をお勧めします。

松原道子
名古屋市立東部医療センター 東市民病院 看護師
オムツフィッター